

2022

Faculty of ***Music***

学生募集要項

一般選抜 / 社会人特別選抜

京都市立芸術大学

— 音楽学部 —

令和4年度 [2022年度]

京都市立芸術大学

Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —

重要なお知らせ

新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によっては、学生募集要項に記載されている選抜方法とは異なる日程*・方法で選抜を実施する可能性があります。その場合は、本学ホームページ (<https://www.kcuu.ac.jp>) で随時、お知らせします。

※分離分割方式の後期日程の範囲内での日程変更の可能性があります。

—音楽学部の教育・研究目的—

音楽学部は、個性を尊重し創造性を育む専門的な音楽芸術の教育研究により、幅広い教養を併せ持つ優れた音楽家や研究者となりうる人材を育成することを目的とします。

◆アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

音楽学部は、次のような学生を求めています。

- 1 音楽芸術の専門教育を受けるに足る基礎的技術と知識、強い学習意欲を持つ学生
- 2 個性と芸術的創造力にあふれる学生

◆カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

音楽学部は、少人数教育の利点を活かした密度の高い指導を通じて、学生が専門分野における技術と知識を学び、感性を養うとともに、あらゆる芸術の土台となる幅広い教養と、次の力を身につけることを目指し、カリキュラムを編成し、実施します。

- 1 実演分野においては、楽器、声を操る上での基礎的な身体技法及びそれらを自由に操る知的応用力
- 2 創作分野においては、作曲上必要となる基礎的な楽音の取扱い方と知的応用力、またその記譜力
- 3 学術分野においては、教養教育にも重点を置いた教育課程によって培われる、問題を把握する基礎的な思考力、情報リテラシー能力及び情報発信力

◆ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

音楽学部は、卒業時までには達成すべき目標を以下のとおりとします。

- 1 実演、創作、学術の各分野における、音楽人として相応しい音楽的もしくは学術的基礎力、応用力の獲得
- 2 幅広い教養を有し、それらを社会に対して創造的に発信し、芸術文化に寄与できる能力の修得

入学試験の基本的な考え方・方針

音楽学部は、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）に適した学生を受け入れるため、以下の試験を課しています。

【作曲専攻，指揮専攻，ピアノ専攻，弦楽専攻，管・打楽専攻，声楽専攻】

- ・本学での専門教育を受けるに足る基礎的な学力を評価するため、大学入学共通テスト（国語，外国語等）を課します。
- ・本学での専門教育を受けるに足る専攻ごとの技術や知識を評価するため、第一次試験において各専攻別に課題を課します。
- ・本学での専門教育を受けるに足る幅広い音楽的素養を評価するため、第二次試験（音楽通論，聴音書取，新曲視唱，副科ピアノ演奏等）を課します。
- ・以上の試験の成績を総合的に判断し，最終合否判定を行います。

【音楽学専攻】

- ・本学での音楽学の専門教育を受けるに足る基礎的な学力を評価するため，大学入学共通テスト（国語，外国語等）を課します（社会人特別選抜を除く）。
- ・第一次試験では，本学での音楽学の専門教育を受けるに足る語学力を評価するとともに，学術的研究に必要な着眼力，問題提起能力，課題解決に向けた発想力，論理的思考力及び文章構成力を，学生募集要項の発表と同時に公開する課題に対する事前提出物によって測ります。
- ・第二次試験では，音楽に対する学術的研究を実践する上で必要となる着眼力，問題提起能力，課題解決に向けた発想力，論理的思考力，プレゼンテーションや討論などのコミュニケーション能力を測るために，主に事前提出物で論じた内容に関する口頭試問を実施します。
- ・以上の試験の成績を総合的に判断し，最終合否判定を行います。

なお，入学試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価も行います。その評価については以下のとおりです。

【指揮専攻，ピアノ専攻，弦楽専攻，管・打楽専攻，声楽専攻】

管弦楽，吹奏楽，室内楽や合唱など，アンサンブルとして演奏すること，また，伴奏者と合わせて演奏することは，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ」ことそのものです。従って「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については，実技演奏で評価します。調査書は必要に応じて参考として使用します。

【作曲専攻，音楽学専攻】

面接試験で主体性，多様性，協働性を測る質問の参考として調査書を用います。

なお，いずれの専攻においても，志願者本人が記載する資料等の提出は必要ありません。

入学前に身につけてほしい力

音楽学部の各専攻では、以下のような能力を入学までに身につけることを期待します。

作曲専攻

- ・和声法及び対位法の基礎能力
- ・それらを使って、音楽を構成できる能力
- ・高度の作曲法へ進むための、読譜力、理解力、知的好奇心

指揮専攻

指揮法、いわゆるバトンテクニックの習熟度よりも、音楽家としての基礎力の習熟度を重視
具体的には、

- ・聴音、視唱等のソルフェージュの基礎能力の向上
- ・和声法の基礎能力

の2点を重視。

加えて、ピアノまたは他の楽器、声楽での演奏を通して音楽的な表現が出来るような、演奏面での習熟

ピアノ専攻

- ・基礎的な読譜・初見能力の習得
- ・音楽の語法、形式、様式（スタイル）に対する理解と実践
- ・基礎的な練習曲、演奏技術（メカニズム）の理解と習得
- ・バロック・古典・ロマン・近現代作品など多様なレパートリー構築への準備

弦楽専攻

- ・基礎的な読譜能力および演奏技術の習得
- ・音階、練習曲、協奏曲の学習と実践
- ・バロック・古典・ロマン・近現代の多様な作品の演奏への準備

管・打楽専攻

- ・基礎的な楽器演奏技術
- ・基礎的な読譜能力及び、様々な時代様式の楽曲に対する基礎的理解とその表現技術

声楽専攻

- ・基礎的な歌唱技術
- ・聴音、視唱等のソルフェージュの基礎能力（特にコールユーブンゲンは重要な課題の一つなので、習得しておくこと）

音楽学専攻

音楽に対する関心に加えて総合的な俯瞰能力を有する者を求めます。それに当たって以下に掲げる基礎的な学力が受入の際の評価の対象となります。

- ・高等学校の教育課程の教科・科目の履修により培われる論理的思考能力
- ・高等学校の教育課程の教科・科目で習得した内容を活用する能力
- ・国語・外国語を用いたコミュニケーションならびに自己表現の能力

I 一般選抜

(社会人特別選抜との併願はできません。)

1 募集人員

音楽学部 (計65名)

学 科	専 攻	募集人員
音楽学科	作曲専攻	4名
	指揮専攻	
	ピアノ専攻	14名
	弦楽専攻	14名
	管・打楽専攻	16名
	声楽専攻	14名
	音楽学専攻	3名

注1 本学部は**後期日程**のみの募集です。

2 音楽学専攻の3名は社会人特別選抜の募集人員を含みます。

2 出願資格

本学に出願できる者は、(1)～(8)のいずれかに該当する者で、令和4年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を全て受験した者として、大学入学共通テストにおいて指定する教科・科目及び配点については、「3 大学入学共通テストで受験を要する教科等」をご参照ください。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣が指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則第8条第1項に規定する認定試験合格者(旧大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)第8条第1項に規定する資格検定合格者を含む。)及び令和4年3月31日までに合格見込みの者で、令和4年3月31日までに18歳に達する者
- (8) その他相当の年齢に達し、学長が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3 大学入学共通テストで受験を要する教科等

大学入学共通テストにおいて受験しなければならない教科・科目及び配点は次のとおりです。必要な教科のうち1教科でも欠席した場合は受験を認めませんので、受験科目を十分確認のうえ、出願してください。

専攻	教科	科 目	配 点	
作曲専攻 指揮専攻	国語	「国語」	200点	3教科3科目 合計600点
	地理歴史 公民 数学	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」「数学I」 「数学I・数学A」「数学II」 「数学II・数学B」から1科目選択	素点100点を 200点に換算	
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」から1科目選択	200点	
ピアノ専攻 弦楽専攻 管・打楽専攻 声楽専攻	国語	「国語」	200点	2教科2科目 合計400点
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」から1科目選択	200点	
音楽学専攻	国語	「国語」	200点	3教科3科目 合計600点
	地理歴史 公民 数学	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」「数学I」 「数学I・数学A」「数学II」 「数学II・数学B」から1科目選択	素点100点を 200点に換算	
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」から1科目選択	200点	

- 注1 外国語のうち「英語」を選択受験した場合の配点は、リーディング（100点満点）を140点満点に、リスニング（100点満点）を60点満点に換算し、合計得点を200点満点とします。なお、リスニングテストを受験しなかった場合は失格となります。ただし、リスニングテスト免除者については、リーディングテストの成績を200点に換算し利用します。
- 作曲専攻、指揮専攻、音楽学専攻における「地理歴史、公民」での2科目受験者については、第1解答科目の得点を採用します。
 - 作曲専攻、指揮専攻、音楽学専攻において「地理歴史、公民」と「数学」を受験した場合は、「地理歴史、公民」と「数学」のうち高得点の1教科の得点を採用します。
 - 過年度の成績を利用することはできません。

4 出願の流れ

インターネット出願システムを利用し、出願状況等の必要事項を登録のうえ、必要書類を出願期間内に簡易書留・速達郵便で郵送してください。

(1) 必要なインターネット環境

パソコン	Windows : InternetExplorer 11以降, Microsoft Edge (最新バージョン) GoogleChrome (最新バージョン) , Firefox (最新バージョン)
	MacOS : Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 5.0 以上 (Android Chrome最新バージョン) iOS : 10.0 以上 (Safari最新バージョン)

ア どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。

- ・JavaScriptを有効にする。
- ・Cookieを有効にする。

イ セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターにお問い合わせください。

(2) 出願の流れ

(1) アカウント作成 ※Post@net のアカウントをお持ちでない場合

インターネット出願登録サイトの利用にはアカウントが必要になりますので、下記の手順でアカウントを作成してください。

【アカウント作成の流れ】

- ①京都市立芸術大学ホームページ (<https://www.kcua.ac.jp/examinee/>) にアクセス。
- ②「インターネット出願」をクリックして出願ページを開きます。
- ③Post@net のログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- ④利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードを入力して「登録」ボタンをクリック。
- ⑤入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
- ⑥仮登録メールの受信から 60 分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。
- ⑦ログインの際には、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力し、ログインしてください。
- ⑧「学校一覧」から「京都市立芸術大学」を検索し、お気に入り学校の登録をしてください。

※アカウント作成の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール (Gmail や Yahoo! メールなど) や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン (@kcua.ac.jp, @postanet.jp) を受信指定してください。出願登録完了時・入学考査料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。



(2) インターネット出願登録期間・方法

令和4年(2022年)1月24日(月)から2月4日(金)15時00分まで

本学のインターネット出願登録サイトから、出願情報等の必要事項を登録してください。

※令和4年度(2022年度)入学者選抜要項で公表した期限(2月2日(水))から期間を延長しています。

【出願登録の流れ】

- ①留意事項の確認
- ②入試区分の選択
- ③試験日・学科・試験会場等の選択
- ④志願者情報(氏名・住所等)、演奏曲等の入力
- ⑤出願内容の確認
- ⑥支払方法の選択

※志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容(特に生年月日・電話番号・住所)に誤りがないか十分に確認してください。志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。

※入力する氏名は戸籍名と同一のこと。外国籍の場合は、住民票の写しに記載されている氏名と同一のこと。その他の書類についても同様とします。

※志望専攻や楽器について、出願後の変更は認めません。



(3) 入学考査料 17,000 円の支払い

令和4年(2022年)1月24日(月)から2月4日(金)23時59分59秒まで

インターネット出願完了後、コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行 ATM(ペイジー)のいずれかにより、指定された期間までに入学考査料をお支払いください。

なお、お支払い後、入学考査料は一切返還しません。

【支払い方法】コンビニ・ペイジーを選択した場合

支払いに必要な番号が表示されますので、必ずメモしてください。

【支払い方法】クレジットカードを選択した番号

インターネット出願登録サイトでカード情報を入力し、決済完了すると入金完了メールが通知されます。

※入学考査料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

※クレジットカード支払いの場合、出願登録と同時に入学考査料の支払いが完了しますので、出願内容に誤りがないよう確認してください。

※上記支払い方法による支払いが不可能な場合や、入学考査料の支払い後に「出願情報(住所・氏名・電話番号等)」に誤りや変更が生じた場合は、連携推進課入試担当までご連絡ください。



(4) 必要書類の印刷・送付（詳細は5 出願手続 (1) 出願に必要な書類等のとおり）

令和4年（2022年）1月24日（月）から2月4日（金）まで（消印有効）

①インターネット出願登録サイトからWeb 入学志願票等の書類を印刷してください（A4判，カラー推奨）。

②出願用封筒（市販の角形2号封筒（240mm×332mm））を用意し，封筒貼付用宛名シート（A4判，カラー推奨）を貼り付けてください。

※封筒貼付用宛名シートの出力ができない場合は，直接封筒に記入してください。

③印刷したWeb 入学志願票等の必要書類を封筒に入れ，出願期限までに「簡易書留・速達」で郵送（消印有効）してください。

※Web 入学志願票と封筒貼付用宛名シートについては，入学考査料の支払い後に「出願内容の確認」から取得が可能です。

郵送先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6 京都市立芸術大学連携推進課入試担当



(5) 受験票印刷

必要書類の受理，入学考査料の入金を確認した後に，本学から「受験票ダウンロードメール」をお送りします。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロードし，ご自身で印刷の上，試験当日に必ず持参してください。

※印刷時，ページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。

5 出願手続について

(1) 出願に必要な書類等

ア インターネット出願時に必要な書類

書 類	摘 要
① 顔写真データ	最近3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向き・背景なしのもの。 ※ファイルの形式はJPEG，容量は3MB以下のデータがアップロード可。 ※不鮮明なもの・加工されているものは不可。 ※私服・制服どちらでも可。 ※インターネット出願登録サイトにアップロードして使用します。
② 大学入学共通テスト成績請求票	令和4年度大学入学共通テスト成績請求票（後期日程用）に記載されている番号をインターネット出願登録サイトに入力してください。 なお，同一日程グループに属する2つ以上の大学・学部等への出願（いわゆる重願）はできません。

イ インターネット出願登録サイトからダウンロードして大学に提出するもの

書 類		摘 要
①	Web 入学志願票	入学考査料の支払い後に印刷（A4判，カラー推奨）してください。 印刷後，令和 4 年度大学入学共通テスト成績請求票（後期日程用）を成績請求票貼付欄に貼付してください。
②	封筒貼付用宛名シート	入学考査料の支払い後に印刷（A4判，カラー推奨）してください。 印刷後，各自が準備する角形 2 号封筒（240mm×332mm）に貼付してください。

ウ 上記イに加え，各自が準備して大学に提出するもの

書 類		摘 要
①	調査書	（ア）出身学校長が作成し，厳封したもの（開封無効） （イ）出身校が廃校その他やむをえない事情のため調査書が得られない場合は，卒業証明書及び成績証明書等を調査書に代えて提出してください。成績証明書が発行できない場合はそれに代わる書類または，出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨の文書」をあわせて提出してください。 （ウ）高等学校卒業程度認定試験の合格者は，合格成績証明書を提出してください。ただし，高等学校等において科目を一部履修したことにより受験科目の一部を免除された場合は，その免除された科目の調査書または成績証明書もあわせて提出してください。
②	角形 2 号封筒	「封筒貼付用宛名シート」を貼付するための市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）を準備してください。
③	戸籍謄本や運転免許証の写し等 【該当者のみ】	各種証明書等と現在の姓が異なる場合は，改姓の事実が確認できる証明書等（戸籍抄本や運転免許証の写し等）を添付すること。（該当者のみ）
④	伴奏用楽譜 【該当者のみ】	指揮専攻志望者で声楽選択者と声楽専攻志望者（全員）は，伴奏用楽譜を提出してください。必要部数等，詳細は 19 ページ，26 ページを参照してください。（該当者のみ）

(2) 入学考査料の支払い方法について

ア コンビニエンスストアの場合

	手順
デイリーヤマザキ/ ヤマザキデイリーストアー	インターネット出願登録サイトの画面に表示されたオンライン決済番号をレジで番号を知らせる
ローソン/ ミニストップ	①インターネット出願登録サイトの画面に表示された「受付番号」を控える ②Loppi（ロッピー）の「各種番号をお持ちの方」ボタンを押す ③「受付番号」と「お申込みした電話番号」を入力 ④「申込券」を発券し，発券から 30 分以内にレジへ

セイコーマート	①インターネット出願登録サイトの画面に表示された「受付番号」を控える ②レジで「インターネット支払い」とお知らせください ③お客様側レジ操作画面に、「受付番号・電話番号」を入力 ④支払内容を確認し、代金お支払い
ファミリーマート	①インターネット出願登録サイトの画面に表示された「第1番号(企業コード20020)」と「第2番号(注文番号12桁)」を控える ②Famiポートの「代金支払い」ボタンを押す ③「番号を入力する」ボタンを押す ④「第1番号(企業コード20020)」と「第2番号(注文番号12桁)」を入力 ⑤「Famiポート申込券」発券し、発券から30分以内にレジへ
セブンイレブン	①「払込票」を印刷またはインターネット出願登録サイトの画面に表示された「払込票番号」を控える ②印刷した「払込票」を渡す、またはレジで「払込票番号」を知らせる

イ クレジットカードでの支払い

インターネット出願登録サイトでカード情報を入力してください。

出願登録完了と同時に入学考査料のお支払いが完了しますので、その後の登録内容の変更はできません。

ウ ペイジーでの支払い

(ア) 銀行ATM

- ①ペイジー対応の銀行ATMを利用し、税金・各種料金(ペイジー)を選択
- ②「収納機関番号・お客様番号・確認番号」を入力
- ③支払い方法を選択(現金またはキャッシュカード)

(イ) ネットバンキング

「収納機関番号・お客様番号・確認番号」を控え、各自で支払い方法を確認し、入学考査料を支払ってください。

(3) 受験票

ア 必要書類の受理、入学考査料の入金を確認した後に、本学から「受験票ダウンロードメール」をお送りします。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロードし、ご自身で印刷の上、試験当日に必ず持参してください。2月14日(月)までに通知がない場合は、電話等により連携推進課入試担当に問い合わせてください。

イ 受験番号は次の区分とします。

作曲専攻 21001～ 指揮専攻 22001～ ピアノ専攻 23001～ 弦楽専攻 24001～
管・打楽専攻 25001～ 声楽専攻 26001～ 音楽学専攻 27001～

ウ 第一次試験の試験開始時刻や諸注意、副科ピアノ課題曲(作曲専攻、指揮専攻、弦楽専攻、管・打楽専攻、声楽専攻)及び事前提出物(音楽学専攻)の提出先などについて、2月17日(木)以降に、出願時に登録しているメールアドレスにメールでお知らせします。

(4) 出願上の注意

- ア インターネットでの出願に際して、志願者情報の入力・確認画面では必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか、十分に確認してください。
- イ インターネット出願登録サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学考査料を支払った上で、必要書類を提出期間内に「簡易書留・速達」で本学に送付する必要があります。
- ウ 出願期間を過ぎた場合は、いかなる事情であっても受理しませんので、郵送期間を十分考慮の上、必要書類を送付してください。

(5) 障害等を有する入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害等（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・発達障害・その他）がある方は、受験上及び修学上配慮を必要とすることがありますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

また、申し出に基づき、相談が必要となった場合は以下のとおりとします。

ア 申し出期限 令和4年（2022年）1月7日（金）まで

イ 相談の方法

下記事項（ア）から（オ）を記載した申請書（様式は問いません。）に医師の診断書を添えて提出することとし、必要な場合は、本学において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います（期限後に、受験上及び修学上配慮が必要になった志願者は、速やかに連絡してください）。

- （ア）志望専攻 （イ）障害の種類・程度 （ウ）受験上配慮を希望する事項
- （エ）修学上の配慮を希望する事項 （オ）その他参考となる事項

(6) その他

他の国公立大学・学部^{*}の推薦入学合格者は、本学入学試験を受験できません。たとえ受験しても、受験者として取り扱いません。（推薦入学辞退願を提出することにより入学辞退を許可された場合を除く。）また、前期日程試験に合格し、3月15日（火）まで入学手続を行った者は、本学実施試験を受験しても合格者となりません。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ (<https://www.kodaikyo.org/>) を参照。

6 出願状況

出願状況について、本学ホームページ (<https://www.kcuu.ac.jp/>) で速報します。

7 入学試験

(1) 大学入学共通テスト

ピアノ、弦楽、管・打楽、声楽の各専攻については国語200点、外国語200点です。作曲、指揮、音楽学専攻については国語200点、外国語200点、選択教科200点（素点100点）です。（4ページ参照）

(2) 本学で行う入学試験

受験者全員に第一次試験を行い、第一次試験合格者に対して、第二次試験を行います。

ア 第一次試験（専攻試験）

【作曲専攻，指揮専攻，ピアノ専攻，弦楽専攻，管・打楽専攻，声楽専攻】（900点）

実技試験（17ページ以下参照）

【音楽学専攻】（400点）

英語（1時間40分，300点），事前提出物（音楽に関する課題作文，100点）（27ページ参照）

イ 第二次試験（専攻試験）

【A 作曲専攻，指揮専攻，弦楽専攻，管・打楽専攻】（400点）

- (a) 音楽通論
- (b) 聴音書取（旋律聴音・和声聴音）
- (c) 新曲視唱
- (d) 副科ピアノ演奏（事前の動画提出による映像審査）

【B ピアノ専攻】（400点）

- (a) 音楽通論
- (b) 聴音書取（旋律聴音・和声聴音）
- (c) 新曲視唱
- (d) ピアノ新曲視奏

【C 声楽専攻】（400点）

- (a) 音楽通論
- (b) 聴音書取（旋律聴音・和声聴音）
- (c) 新曲視唱，ユールクューブゲン視唱（全訳書第1巻から当日1曲指定）
- (d) 副科ピアノ演奏（事前の動画提出による映像審査）

【D 音楽学専攻】（900点）

- (a) 口頭試問（事前提出物に基づいたプレゼンテーションと質疑応答）（27・28ページ参照）

(2) 合否判定について

【作曲専攻，指揮専攻，ピアノ専攻，弦楽専攻，管・打楽専攻，声楽専攻】

- ・ 第一次試験合否判定は第一次試験の成績のみによって行います。
- ・ 最終合否判定は，第一次試験，第二次試験及び大学入学共通テストの成績を総合的に判断して行います。
- ・ 最終合否判定に際しては，弦楽専攻，管・打楽専攻及び声楽専攻については，カリキュラム実施上の理由から，入学者間の数的バランスを考慮する場合があります。

【音楽学専攻】

- ・ 第一次試験の合否判定は，第一次試験及び大学入学共通テストの成績に基づいて行います。
- ・ 最終合否判定は，第二次試験の結果に基づき，第一次試験，大学入学共通テストの成績もふまえて総合的に判断します。

(3) 試験会場

京都市立芸術大学（京都市西京区大枝沓掛町13-6）

注 試験会場への略図，交通機関については，裏表紙を参照してください。

(4) 試験日程

		作曲	指揮	ピアノ	声楽	弦楽	管打楽	音楽学
第一次 試験	3月12日（土）	●		●			●	●
	3月13日（日）	●	●	●			●	
	3月14日（月）	●	●		●	●	●	
	3月15日（火）				●	●	●	
3月16日（水）		第一次試験合格者発表（午後4時予定） 注 午後4時（予定）から第一次試験合格者の受験番号及び第二次試験の受験要領を本学ホームページ（ https://www.keua.ac.jp/ ）に掲載します。電話等による問い合わせには一切応じません。						
第二次 試験	3月17日（木）	第一次試験合格者のみ第二次試験を実施します。 【作曲専攻，指揮専攻，ピアノ専攻，弦楽専攻，管・打楽専攻，声楽専攻】 音楽通論，聴音書取，新曲視唱，コールユープンゲン視唱，ピアノ新曲視奏，副科ピアノ演奏（事前の動画提出による映像審査） 【音楽学専攻】 口頭試問（事前の提出物に基づいたプレゼンテーションと質疑応答）						
注1 第一次試験の試験開始時刻などの試験日程，諸注意については，2月17日（木）以降に，出願時に登録しているメールアドレスにメールでお知らせします。 なお，管・打楽専攻の第一次試験は楽器によって下記の試験日とします。 12・13日：フルート，サクソフォン，ホルン，トランペット，ユーフォニアム，チューバ，打楽器 14・15日：オーボエ，クラリネット，ファゴット，トロンボーン，バス・トロンボーン 2 受験順（演奏順）については，本学音楽学部にて厳正に抽選を行い決定します。 3 第二次試験の試験日程について，詳細は，第一次試験合格者への受験要領でお知らせします。 4 副科ピアノ演奏については，事前の動画提出による映像審査として実施します（28・29ページ参照）。								

(5) 受験者諸注意

- ア 試験当日，定められた時刻に集合し，係員の指示を待つこと。本学への入口は正門のみとします。
- イ **本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を必ず持参してください。**
- ウ **急病その他事故のため定刻に集合できない事情が発生した場合は，速やかに連携推進課入試担当（075-334-2238）まで連絡してください。**
- エ 定められた試験科目を1科目でも欠席すると，以降の試験科目は受験できません。
- オ 試験に関する不正行為があったときは，試験を無効とし，退席させます。
- カ 試験場構内の下見はできません。
- キ 駐車場を設けていますが，原則として付き添いの構内入場は許可しません。
- ク 入学試験当日に受験できなかった場合，追試験等の特別措置及び入学考査料の返還は行いません。
- ケ 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症，インフルエンザ，麻疹，水痘等）に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は，他の受験生や監督者等への伝染の恐れがありますので，原則として受験をご遠慮願います。ただし，症状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は，この限りではありません。
- また，試験当日の検温で，37.5度以上の発熱がある場合や，保健所から新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている方，過去2週間以内に政府から入国制限，入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した方なども，原則として受験をご遠慮願います。ただし，発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者の場合は

受験できる場合がありますので、詳しくは連携推進課入試担当に問い合わせてください。

なお、試験当日は症状の有無にかかわらず、マスクを持参し、昼食時や試験監督者等から指示があった場合を除き、常に着用してください。

- コ 新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によっては、学生募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施する可能性があります。その場合は本学ホームページ (<https://www.kcua.ac.jp/>) で随時、お知らせします。

8 最終合格者発表

令和4年3月20日（日）の午前11時（予定）から約1週間、本学ホームページ (<https://www.kcua.ac.jp/>) で合格者の受験番号を掲載します。また、合格者には文書で通知します。この合格通知の発送をもって正式なものとしします。

電話等による問い合わせには、一切応じません。

9 入学手続

(1) 入学手続期間

最終合格者は3月25日（金）から3月27日（日）の間に入学手続を完了してください。

郵送による手続は認めません。

この日までに**入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。**

(2) 場 所 京都市立芸術大学連携推進課入試担当（中央棟2階）

(3) 入学手続の方法

本学の入学手続に際し、必要なものは次のとおりです。

ア 入学料の納付	市内出身者	282,000円
	市外出身者	482,000円

注1 市内出身者とは、入学前年の4月1日以前から引き続き京都市内に居住し、住民票の写しにより証明される者

2 上記の入学料は令和3年度（2021年度）入学者の場合であり、改定があった場合は合格者に通知します。

イ 誓約書の提出（正・副保証人）

ウ 大学入学共通テスト受験票の提示

注 なお、入学時に必要な納付金及び提出書類については、合格通知と同時に合格者に通知します。

(4) 注意事項

一つの国公立大学に入学手続を行った者は、これを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

10 追加合格

3月27日（日）入学手続締切後欠員が生じた場合は追加合格を行います。

追加合格は3月28日（月）から3月31日（木）までに行いますので、その期間は必ず連絡が取れるようにしてください。（連絡は大学から行い、受験生からの問い合わせには一切応じません。）

なお、追加合格の実施の有無については、3月28日（月）に、その旨を本学ホームページに掲載します。

11 試験の成績照会について（第二次試験不合格者のみ）

第二次試験を受験して不合格となり、試験結果（不合格理由）の通知を希望する者は、不合格理由開示請求、受験番号、志望専攻、氏名を明記し、**本学受験票（原本）**及び長形3号の返信用封筒（定形封筒に宛先記入、84円切手貼付）を同封のうえ、令和4年4月1日（金）から4月30日（土）までの間に連携推進課入試担当まで郵送で請求してください。なお、電話等での問い合わせには応じません。回答内容は、合格基準を満たさなかった項目にチェック印（✓）を入れたものとなります。（期限後の照会には応じません。）

12 必要経費

（参考：令和3年度（2021年度）入学者）

授業料	535,800円	・前期 267,900円（納期 4月中） ・後期 267,900円（納期10月中）	
入学料	282,000円（市内出身者） 482,000円（市外出身者）	}	（納期 入学手続期間 13ページ9 入学手続参照）
その他			
音楽教育後援会会費	100,000円（学部4年間分）……	}	（納期 新入生手続期間 3月下旬）
真声会（同窓会）入会金	15,000円 ……………		
学生教育研究災害障害保険料	3,300円（学部4年間分）……		
学研災付帯賠償責任保険料	1,360円（学部4年間分）……		

附 記

- 1 本学には寮の施設はありません。
- 2 本学には、日本学生支援機構（旧・日本育英会）、地方自治体、各種企業等の奨学金制度があります。
- 3 本学には授業料の減免制度があります。

13 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

（1）利用目的について

- ア 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- イ 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- ウ 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- エ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における授業料減免及び奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- オ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

（2）第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- ア 上記（1）ア～オの個人情報を取り扱う業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締

結したうえで、外部の事業者に委託する場合

- イ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うために、合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る。）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- ウ 本学の教育後援会、同窓会に情報提供する場合（合格者のみ）

Ⅱ 社会人特別選抜

（音楽学専攻のみの募集です。一般選抜との併願はできません。）

1 募集人員

音楽学科 音楽学専攻 若干名

注1 本学部は**後期日程**のみの募集です。

- 2 社会人特別選抜の募集人員は、一般選抜の音楽学専攻募集人員3名に含まれます。

2 出願資格

社会人特別選抜試験に出願できる者は、一般選抜における出願資格（1）～（8）（本要項3ページに記載）のいずれかに該当する者で、令和4年4月1日までに満23歳に達し、社会人（就職の有無は問わない。）の経験を4年以上有する者とします。ただし、学校（定時制、夜間及び通信制の学校は除く。）の通学期間は、社会人の経験期間に含めません。

注 出願資格（8）により出願しようとする者は、出願資格認定審査の手続を要するため、令和3年12月24日（金）まで（必着）に連携推進課入試担当へ以下の書類を提出してください。（郵送可）

- ・京都市立芸術大学入学資格認定申請書（様式は連携推進課入試担当に電話で請求してください。）
- ・出身校の学則等（修業年限やカリキュラム等の確認できるもの）
- ・出身校の調査書
- ・出身校の卒業（見込）証明書

3 出願の流れ・出願手続

一般選抜に準ずる。

ただし、出願書類については4 提出書類のとおり。

4 提出書類

一般選抜に準ずる。

ただし、一般選抜とは下記の点が異なります。下記(1)及び(2)を、Web入学志願票等の必要書類とともに、出願期限までに「簡易書留・速達」で郵送してください。

(1) 志願理由書

本要項から志願理由書を印刷し、本専攻を志願した理由等を具体的に書き、履歴欄に最終学歴と職歴を記入し、提出すること。

(2) 卒業・修了証明書及び成績証明書

調査書に代えて最終学歴の卒業・修了証明書又は見込証明書及び成績証明書（厳封したものに限る。）を提出すること。

注 一般選抜で求めている大学入学共通テスト成績請求票と調査書は不要です。

5 受験票

一般選抜に同じ ただし、受験番号は次の区分とします。 音楽学専攻 27501～

6 出願状況

一般選抜に同じ

7 入学試験

一般選抜に準ずる。

ただし、大学入学共通テストを免除します。

8 最終合格者発表

一般選抜に同じ

9 入学手続

一般選抜に準ずる。

ただし、大学入学共通テスト受験票の提示は不要

10 追加合格

一般選抜に準ずる。

ただし、一般選抜を含めた音楽学専攻志願者の中から追加合格を行います。

11 試験の成績照会について（第二次試験不合格者のみ）

一般選抜に同じ

12 入学後の必要経費

一般選抜に同じ

13 個人情報の取り扱いについて

一般選抜に同じ

音楽学部入学試験各専攻実技課題

作曲専攻

(第1日) 和声法：A バス課題：与えられたバスに和声をつけ、4声体とすること。
 B ソプラノ課題：与えられたソプラノに和声をつけ、4声体とすること。
 両課題とも記譜は次の a 又は b のいずれかを選択すること。
 a ト音記号とヘ音記号の大譜表による。
 b ソプラノ、アルト、テノール及びバス記号による。ト音記号は用いない。
 実施例（a, b による記譜）は別記のとおり。試験時間各2時間30分
 作品提出：自作品を1曲以上、試験当日に提出すること。（コピー譜を提出のこと。提出された作品は返却しない。）

(第2日) 二声対位法：与えられた全音符の定旋律に、対旋律をつくる。試験時間2時間
 対旋律は、2分音符、4分音符、8分音符と移勢（シンコペーション）を含む、いわゆる自由（華麗）対旋律によるものとする。

解答は、次の1～6の6通りが必要である。

- 1：定旋律をバスに置き、対旋律をソプラノに作る。
- 2：定旋律をバスに置き、対旋律をアルトに作る。
- 3：定旋律をバスに置き、対旋律をテノールに作る。
- 4：定旋律をソプラノに置き、対旋律をアルトに作る。
- 5：定旋律をソプラノに置き、対旋律をテノールに作る。
- 6：定旋律をソプラノに置き、対旋律をバスに作る。

なお、定旋律は、ソプラノとバスにおいて、適宜移調してもよい。

記譜は a 又は b のいずれかを選択すること。

a：ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

b：ソプラノ、アルト、テノール、バス記号による。ト音記号は用いない。

実施例（b による記譜）は別記のとおり。

作曲：与えられた素材により器楽曲を作曲すること。試験時間4時間30分

(第3日) 面接：各日の試験内容、及び提出作品について等の試問。

◎作曲専攻（第1日）和声法の実施例

*課題 {過去の出題（ソプラノ課題）より冒頭2小節}



*記譜 a による実施例



* 記譜 b による実施例

Andante (♩=72 ca.)

The score is in 4/4 time with a tempo of approximately 72 beats per minute. It consists of four staves. The first staff has a dynamic marking of *mp* and a crescendo to *mf*. The second and third staves have a dynamic marking of *mp*. The fourth staff has a dynamic marking of *mp*. A fermata is placed over the final measure of the first staff.

◎作曲専攻（第 2 日）二声対位法の実施例

* 記譜 b による実施例

定旋律

定旋律

実施例

The examples show the fixed melody in the bass clef and a counter-melody in the treble clef. The key signature is D major (two sharps) and the time signature is 4/4. Example 1 shows a counter-melody starting on G4. Example 2 starts on A4. Example 3 starts on B4. Example 4 starts on C5. Example 5 starts on D5. Example 6 starts on E5.

指揮専攻

- (第1日) 和声法：与えられたバスとソプラノの旋律に和声をつけ、4声体とすること。
(記譜はト音記号とヘ音記号の大譜表による。) 試験時間3時間
- (第2日) 1 下記の楽曲の指揮をすること。演奏箇所は、当日指定する。(演奏は二台ピアノによる)
- (ア) L. v. Beethoven : 交響曲 第1番 ハ長調 作品21より第1楽章, 第4楽章
(イ) L. v. Beethoven : 交響曲 第2番 ニ長調 作品36より第1楽章, 第2楽章
上記, 出版社は自由とする。
- 2 下記の楽曲による総譜視奏 (スコアリーディング)
- (ア) L. v. Beethoven : 交響曲 第7番 イ長調 作品92より第2楽章
(イ) 初見視奏 (当日提示する管弦楽曲)
- 3 既に習得している楽器 (ピアノ, 弦楽器, 管打楽器, ハープのうちいずれか1つ) 若しくは声楽を演奏すること。その場合, 楽器は各自持参すること。ただし, コントラバス, ハープについては, 楽器を持参できない場合は, 本学で用意するので, 楽器を持参するか否かをインターネット出願登録時に入力すること。マリмбаについては, 本学で用意する楽器を使用すること。なお, 声楽を除きすべて無伴奏とし, 演奏曲目をインターネット出願登録時に入力すること。伴奏者は本学で用意する。ピアノで受験する場合も, 第二次試験の副科ピアノ演奏を受験しなければならない。
- ※声楽選択者の伴奏用楽譜について
声楽を選択する場合, 伴奏用楽譜を出願の際1曲につき2部ずつ提出すること。
- ・1ページの大きさはA4判とし, 各ページが全開するよう横一連に綴じること。
 - ・表紙には曲名, 調, 氏名を明記すること。(表紙の右上部分には何も書かないこと。)
 - ・印刷したWeb入学志願票等の必要書類とともに封筒に入れ, 出願期限までに「**簡易書留・速達**」で郵送すること。
- 4 面接を行う。

ピアノ専攻

下記の楽曲を演奏すること。

- (第1日) 1 ロマン派以降の作品から, 練習曲以外の任意に選んだ作品。
- (第2日) 2 F. Chopin : 練習曲作品10及び作品25から任意の2曲を選択し, 第1日目に, 本人立会いのもと, 係員による抽選で, 演奏する1曲を決定する。
- 3 J. Haydn 又は M. Clementi 又は W. A. Mozart 又は L. v. Beethoven の, 任意のソナター曲全楽章を選択し, 第1日目に本人による抽選で, 演奏する(1つの, あるいは複数の) 楽章を決定する。

- ※注意
- (1) いずれも暗譜演奏すること。
 - (2) 繰り返しは自由。但し, ソナタ形式の提示部については繰り返ししないこと。
 - (3) 演奏するすべての曲の作曲者, 作品番号, 楽章, 調名をインターネット出願登録時に入力すること。
 - (4) 1については7分以上12分程度までとする。
 - (5) 1については, 変奏曲の抜粋は認めない。
 - (6) 2について, 以下の曲は除く。
作品10から3, 6, 9 作品25から1, 2, 7
 - (7) 2について, 作品番号にかかわらず2曲を選択することも可。
(例: 10-1 10-2 あるいは25-4 25-5 あるいは10-1 25-4)
 - (8) 時間の都合上カットすることがある。

弦楽専攻

下記の課題を演奏すること。

- ※注意**
- (1) 選択した曲目及び調名をインターネット出願登録時に入力すること。
 - (2) 全ての課題は伴奏なしで暗譜演奏すること。(繰り返し及びダ・カーポはしない。)
 - (3) コントラバスについてのみ、楽器を持参できない場合は本学で用意するので、楽器を持参するか否かをインターネット出願登録時に入力すること。
 - (4) 時間の都合上カットすることがある。

* ヴァイオリン

(第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、その第1楽章と第2楽章(ただし Lalo のスペイン交響曲においては第1楽章と第4楽章)を演奏すること。

M. Bruch : 協奏曲 第1番 ト短調 作品26

A. Dvořák : 協奏曲 イ短調 作品53

(Adagio ma non troppo から Finale の前までを第2楽章とする。)

E. Lalo : スペイン交響曲 ニ短調 作品21

F. Mendelssohn : 協奏曲 ホ短調 作品64

N. Paganini : 協奏曲 第1番 ニ長調 作品6

(オリジナル版により演奏すること。カデンツァはなし。)

C. Saint-Saëns : 協奏曲 第3番 ロ短調 作品61

J. Sibelius : 協奏曲 ニ短調 作品47

P. Tchaikovsky : 協奏曲 ニ長調 作品35

(第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)

H. Vieuxtemps : 協奏曲 第4番 ニ短調 作品31

H. Vieuxtemps : 協奏曲 第5番 イ短調 作品37

(カデンツァはなし。Adagio から Allegro con fuoco の前までを第2楽章とする。)

H. Wieniawski : 協奏曲 第1番 嬰へ短調 作品14

(第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)

H. Wieniawski : 協奏曲 第2番 ニ短調 作品22

(第2日) 1 C. Flesch : Scale System より No. 5, 6, 7, 8, 9, 10 ただし No. 6~No. 9 は最初の4小節のみとする。

○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。

○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただし No. 6, 7, 8, 9, 10 は4分音符単位(16分音符4個分)で、スラーをかけることとする。

○速度は No. 5 はメトロノームで4分音符=80以上, No. 6~10 は8分音符=60以上で演奏すること。

2 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。

P. Rode : 24Caprices

J. Dont : Etüden und Capricen 作品35

N. Paganini : 24Caprices 作品1 (ただし17番冒頭及び24番の繰り返しはすること。)

* ヴィオラ

(第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。

Carl Stamitz : 協奏曲 ニ長調 作品1 第1楽章及び第2楽章 (ヘンレ版を使用すること。カデンツァを除く。)

A. Hoffmeister : 協奏曲 ニ長調 第1楽章及び第2楽章 (ヘンレ版を使用すること。カデンツァを除く。)

M. Reger : Suite 作品131d No.1 第1楽章及び終楽章

(第2日) 1 C. Flesch : Scale System より No. 5, 6, 7, 8

ただし No. 6, 7, 8 は最初の4小節のみとする。

○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。

○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただし No. 6, 7, 8 は8分音符単位 (16分音符2個分) で、スラーをかけることとする。

○速度は任意である。

2 B. Campagnoli : 41 Caprices 作品22より任意の1曲を選択し演奏すること。(版は自由とする。)

* チェロ

(第1日) 任意の協奏曲より第1楽章又は最終楽章を演奏すること。

(第2日) 1 J. Loeb の Gammes et arpèges (Billaudot版) を参照のうえ、ニ長調による下記

(a) から (f) までの課題を演奏すること。

(a) 4オクターヴにわたる単音の音階 (スラーは1弓8音♩=100以上)

(b) 4オクターヴにわたる単音分散3度の音階 (スラーは1弓8音♩=100以上)

ハ長調の例

(c) 4オクターヴにわたるアルペジオ (スラーは1弓6音♩=60以上)

(d) 2オクターヴにわたる重音3度の音階 (スラーは自由♩=80以上)

(e) 2オクターヴにわたる重音6度の音階 (スラーは自由♩=80以上)

(f) 2オクターヴにわたる重音8度の音階 (スラーは自由♩=80以上)

(注) (d) (e) (f) の音階を始める音域は任意とする。また運指は全て自由とする。

2 J. Duport : Etudes より任意の1曲を演奏すること。

※上記全ての課題曲の版は自由とする。

***コントラバス**

(第1日) 任意ソナタの第1楽章及び第2楽章又は協奏曲の第1楽章を演奏すること。

(第2日) 1 下記 (a) ~ (d) までの音階及びアルペジオの課題を演奏すること。(速度は自由。スラーの変更可。)

2 Josef Emanuel Storch : 32Etüden für Kontrabaß より 23 番を演奏すること。
(Hofmeister 版を使用すること。フィンガリング, ダイナミックスは自由とする。)

(a)



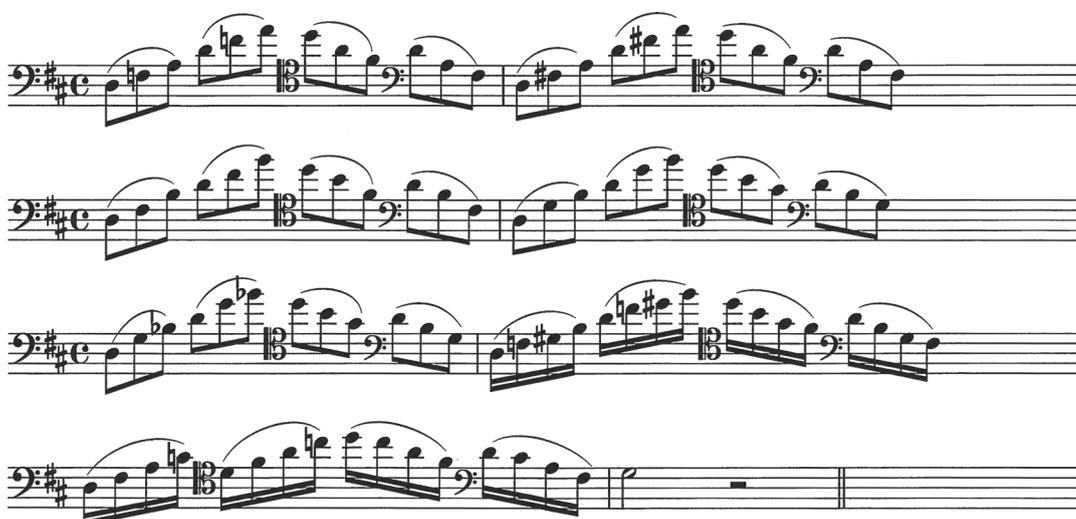
(b)



(c)



(d)



管・打楽専攻

以下の楽曲を演奏すること。

- ※注意**
- (1) 下記の第1日の暗譜演奏の指示のない課題曲の楽譜は各自持参すること。(本学で楽譜は用意しない。)
 - (2) 下記の第2日の楽曲は、いずれも暗譜演奏すること。(繰り返しはしない。)
 - (3) 伴奏者は、いずれも本学において準備するので、同伴しないこと。
 - (4) 時間の都合上カットすることがある。

* フルート

- (第1日)** E. Köhler : 12 Medium Difficult Exercises 作品33 第Ⅱ巻の中から当日指定する曲
(版の指定なし。)
- (第2日)** W. A. Mozart : 協奏曲 第1番 ト長調 K. 313 (K6.285C) 第1楽章 (カデンツァを除く。)

* オーボエ

- (第1日)** W. Ferling : 48 Etudes op.31 (Gerard Billaudot 版) より第11番, 第14番, 第19番, 第21番, 第26番, 第33番, 第35番, 第36番, 第40番, 第44番の中から当日指定する曲
- (第2日)** J. Haydn : 協奏曲 ハ長調 Hob. Vllg : C1 第1, 第2楽章 (Breitkopf 版)

* クラリネット

- (第1日)** 1 R. Eichler : Scales for Clarinet (KUNITACHI COLLEGE OF MUSIC) の各調1・2番を範囲とし, 当日指定する調を暗譜で演奏すること (レガート, スタッカートのいずれかの指示をします)。
- 2 C. Rose : 32 Etudes (Alphonse Leduc版) より第11番, 第13番, 第16番, 第18番, 第19番, 第21番, 第22番, 第26番, 第29番, 第32番の中から当日指定する曲。
- (第2日)** Carl Maria von Weber : Concertino Es-Dur 作品26

* ファゴット

- (第1日)** J. Weissenborn : Fagott Studien 作品8 第2巻より第1番から第15番までの中から当日指定する曲 (繰り返しなし, 版の指定なし)
- (第2日)** G. P. Telemann : Sonata f-moll 第1楽章, 第2楽章 (版の指定なし。)

* サクソフォン

- (第1日)** W. Ferling : 48 Etudes pour tous les saxophones (Alphonse Leduc版) より第14番, 第17番, 第22番, 第26番, 第29番, 第31番, 第36番, 第40番, 第49番, 第53番の中から当日指定する曲
- (第2日)** A. Grazounov : Concerto en mi bemol (Alphonse Leduc版) 冒頭から練習番号第16番まで演奏すること。

* ホルン

- (第1日)** C. Kopprasch : Sixty Selected Studies (C. Fischer版, 繰り返しなし) より第7番, 第12番, 第13番, 第15番, 第16番, 第19番, 第22番, 第23番, 第24番, 第25番, 第27番, 第28番の中から当日指定する曲
- (第2日)** W. A. Mozart : 協奏曲 第4番 変ホ長調 KV. 495 より第1楽章 (カデンツァなし) 及び第3楽章 (第99小節目まで)

*トランペット

- (第1日) 1 E. F. Goldman : Practical Studies for the Trumpetより第19番 Cadenzas の中から当日指定する曲 (C. Fischer版)
- 2 OSKAR BOEHME : 24 MELODIC STUDIES in all tonalities Opus20 より第1番～第18番の中から当日指定する曲
- なお、曲を演奏する前に、それぞれの調の音階を最初はテヌートで、リピート後は最後の分散和音までスタッカートで一息で演奏すること。
- (第2日) G. Alary : Morceau de Concours

*トロンボーン

- (第1日) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より第10番, 第13番, 第15番, 第16番, 第17番, 第18番, 第19番, 第20番, 第21番, 第25番, 第31番, 第37番, 第39番, 第42番の中から当日指定する曲 (繰り返しなし)
- (第2日) F. David : Konzertino 変ホ長調 Op.4 第1楽章 (Zimmermann 版を使用すること。練習番号Dまで演奏)

*バス・トロンボーン

- (第1日) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より第11番, 第13番, 第17番, 第20番, 第21番, 第22番, 第26番の中から当日指定する曲 (繰り返しなし。第13番, 第17番, 第22番はオクターブ下で演奏すること)
- Ostrander : Melodious Etudes for Bass Trombone (C. Fischer版) より
第6番, 第10番, 第16番の中から当日指定する曲
- (第2日) F. David : Konzertino 変ロ長調 第1楽章 (Zimmermann版を使用すること。練習番号Dまで演奏)

*ユーフォニアム

- (第1日) 1 J. B. Arban : Fourteen Characteristic Studies より第1番, 第4番から当日指定する曲 (Encore music publishers)
- 2 M. Bordogni : Complete Vocalises for Trombone より第6番～第15番から当日指定する曲 (Encore music publishers)
- (第2日) P. V. De la Nux : Solo de Concours pour Trombone et Piano (Leduc版), Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (Southern music company版) (どちらの版でもよい)

*チューバ

- (第1日) 1 C. Kopprasch : 60 Selected Studies より第5番, 第7番, 第8番, 第9番, 第10番, 第11番, 第12番, 第13番, 第14番, 第15番の中から当日指定する曲
- 2 M. Bordogni : 43 Bel Canto Studies より第2番～第10番の中から当日指定する曲
- (第2日) W. S. Hartley : Suite for Unaccompanied Tuba (Elkan-Vogel 版) より第1楽章, 第2楽章, 第4楽章

*打楽器

打楽器 (A), 打楽器 (B) のいずれかを選択して演奏すること。(A, B いずれを選択したか, またAについては選択した曲名を願書に明記すること。小太鼓については立奏, 座奏いずれも可。両日とも小太鼓およびスタンドは持参すること。)

打楽器 (A)

- (第1日) (ア) A. J. Cirone : Portraits in Rhythmより, 第6番, 第15番の中から当日指定する曲
(イ) Heinrich Knauer : Kleine Trommelschule (Friedrich Hofmeister Musikverlag)より, 第25番, 第28番, 第29番, 第30番の中から当日指定する曲
(ウ) 下記の楽曲の中から一曲を選択し, 本学で用意するマリンバで演奏すること。版の選択は任意。暗譜で演奏すること。
J. S. Bach : ソナタ 第1番 ト短調 BWV1001
J. S. Bach : パルティータ 第1番 ロ短調 BWV1002
J. S. Bach : ソナタ 第2番 イ短調 BWV1003
J. S. Bach : パルティータ 第2番 ニ短調 BWV1004よりCiaccona
J. S. Bach : ソナタ 第3番 ハ長調 BWV1005
J. S. Bach : パルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006

(第2日) 第1日目の(ウ)に同じ

打楽器 (B)

- (第1日) (ア) A. J. Cirone : Portraits in Rhythmより, 第6番, 第15番の中から当日指定する曲
(イ) Heinrich Knauer : Kleine Trommelschule (Friedrich Hofmeister Musikverlag)より, 第25番, 第28番, 第29番, 第30番の中から当日指定する曲
(ウ) Siegfried Fink : Trommel-Suiteより Intrada Toccata Mista Marcia (暗譜で演奏すること。)
(エ) J. S. Bach : パルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006より Bourée Gigue (本学で用意するマリンバで演奏すること。版の選択は任意。暗譜で演奏すること。)

(第2日) 第1日目の(ウ)に同じ

声乐専攻

- (第1日) 自由曲 : 歌曲あるいはアリア1曲 (宗教曲も含む)。演奏時間は4分程度とする。ただし, 課題曲以外のものを選ぶこと。
- (第2日) 課題曲 : 下記の15曲の中から各自4曲を選ぶこと。その中から当日2曲を指定する。
- | | | |
|------|-----------------|---|
| (1) | A. Del Lento | Dimmi, amor |
| (2) | G. M. Bononcini | Deh, più a me non v'ascondete |
| (3) | G. Torelli | Tu lo sai |
| (4) | G. B. Pergolesi | Se tu m'ami |
| (5) | C. W. Gluck | O del mio dolce ardor (全音楽譜出版社「イタリア歌曲集1巻」31A) |
| (6) | A. Vivaldi | Vieni, Vieni, o mio diletto |
| (7) | A. Caldara | Selve amiche |
| (8) | G. Sarti | Lungi dal caro bene |
| (9) | V. Bellini | Il fervido desiderio |
| (10) | G. Donizetti | Eterno amore e fè |
| (11) | F. P. Tosti | La Serenata |
| (12) | F. Schubert | Frühlingsglaube |
| (13) | R. Schumann | Widmung |
| (14) | 山田耕筰 | 唄 |
| (15) | 中田喜直 | むこうむこう |

- ※注意**
- (1) 試験の際の演奏は暗譜とする。
 - (2) 曲はすべて原語で演奏することが原則であるが、慣例として認められている訳語は可。
 - (3) 自由曲で、オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調によるものとするが、慣例として移調されて歌われるものはその限りではない。
 - (4) 選択した曲名、作曲者名及び調性をインターネット出願登録時に入力すること。
(提出後の調性の変更は認めない。)
 - (5) 自由曲及び課題曲については、時間の都合上、カットすることがある。
 - (6) 伴奏者は、両日とも本学において準備するので、同伴しないこと。

※伴奏用楽譜について

自由曲及び課題曲のためのピアノ伴奏用楽譜は、各自選択した調性の楽譜を印刷したWeb入学志願票等の必要書類とともに1曲につき2部ずつ出願期限までに「簡易書留・速達」で郵送すること。

(自由曲2部，課題曲8部，計10部)

- (1) 1ページの大きさは、A4判
(297mm×210mm) にすること。
- (2) 各ページが全開するよう横一連に綴じること。
その際、テーピングはマスキングテープを使用すること(セロテープは不可)。
- (3) 表紙に第1日・第2日の別、曲名、調、氏名を明記すること。[記入例参照]
- (4) 台紙として、厚紙などの別紙は貼り付けないこと。
また、表紙の右上部分には何も書かないこと。

【記入例：伴奏用楽譜表紙】

第2日 課題曲
(3) G.Torelli
Tu lo sai (〇〇調)

芸大 和音

令和4年度（2022年度）

音楽学部入学試験音楽学専攻試験内容

第一次試験

- ・英語（試験時間1時間40分，300点）

英語の長文を読んだうえで，自分の考えを日本語で論じるなど，小論文的な要素を含む。

英和・和英辞書の持込可，電子辞書の持込可。ただし，通信機能のないものに限る。

- ・事前提出物（音楽に関する課題作文，100点）

課題：自分の関心に沿って，音楽や音（文化）について，具体的な問いを立て，調査・分析・考察等を行ったうえでの結論を提示しなさい。なお，本文中で図表や譜例等を用いても構いません。

様式：A4サイズ（原稿の向きは縦，文字は横書き。上下左右に余白3cm程度設定すること），明朝体（日本語），11ポイント，40字×30行，PDF形式（手書きで作成せず，パソコン等を使用すること）

文字数：2,000字程度（図表，譜例，注，参考文献は字数に含まない）

<PDFファイルの提出方法>

- ・Dropboxのファイルリクエスト機能により提出すること。

ファイルをアップロードするためのリンクを，令和4年2月17日（木）以降に出願時に登録しているメールアドレスに送付します。

メールで送付したリンクを開くとアップロード画面に移るので，提出したいPDFファイルを選択してアップロードしてください。

なお，PDFファイルのアップロードにあたり，Dropboxのアカウントを作成したり，アプリをインストールしたりする必要はありません。

メールが2月末までに届かない場合は，電話等により連携推進課入試担当まで問い合わせること。

- ・PDFファイルのタイトルは，「事前提出物.受験番号.受験者氏名」とすること。なお，受験番号は半角数字とすること。

（例）事前提出物.27001.芸大和音

- ・PDFファイルの提出期限は，令和4年3月4日（金）23時59分59秒とする。

（特別な事情がなく，上記期限までにPDFファイルのアップロードがなかった場合は，受験を認めません。）

<その他注意事項>

- ・インターネット出願時に登録したメールアドレスで「@kcu.ac.jp」のドメインからのメールを受信できるように設定すること。

- ・可能であれば，キャリアメール（NTTドコモ，ソフトバンク，au等）以外のメールアドレスを使用することが望ましい。

- ・Dropboxの利用方法に関する問い合わせには一切応じません。

第二次試験

- ・口頭試問（900点）

試験時間：1人35分程度（事前提出物に基づいたプレゼンテーション（15分）と質疑応答（20分程度））

実施方法等：プレゼンテーション形式は自由。

紙媒体の配布資料を使用する場合は，合計5部を各自で印刷して，当日持参すること。
パソコンを用いてプレゼンテーションを行う場合には，PowerPoint，Keynote，また

はGoogleスライドで作成し、USBメモリに保存し、当日持参すること。パソコン、プロジェクター、ケーブルは大学で用意します（持参したノートパソコンの使用も可能とするが、その場合も発表資料を保存したUSBメモリを用意しておくこと）。

第二次試験 副科ピアノ課題曲（事前の動画提出による映像審査）

副科ピアノの課題曲については、次のとおりとします。

- 音階：次の調性の中から同一調子記号による長調と短調を事前に指定する。
（音階指定は令和4年2月17日（木）以降に、出願時に登録しているメールアドレスに送付します。）
速度はJ=76M. M. 以上。
ハ長調 ト長調 ニ長調 イ長調 ヘ長調 変ロ長調 変ホ長調
イ短調 ホ短調 ロ短調 嬰ヘ短調 ニ短調 ト短調 ハ短調
（注） ハノン第39番による。長調の音階は繰り返し演奏し、終止形をつけて終わる。短調は、和声的及び旋律的短音階の両方を一度ずつ続けて演奏し、終止形をつけて終わる。
- (A) J. S. Bach：平均律クラヴィーア曲集 第2巻より 第6番 ニ短調 BWV875
(B) J. S. Bach：2声のインヴェンション BWV772～786 より1曲又はシンフォニア（3声のインヴェンション）BWV787～801 より1曲を自由選択
ただし、インヴェンション第10番ト長調、シンフォニア第5番変ホ長調、シンフォニア第6番ホ長調を除く。
(C) R. Schumann：子どものためのアルバム（ユーゲントアルバム）
作品68より 第18曲「刈入れの歌」 ハ長調。繰り返しはしない。

(注) ※作曲及び指揮専攻志願者は、上記1は必ず、2は（A）（B）の中から1つを選択し、演奏すること。
※弦楽、管・打楽及び声楽専攻志願者は、上記1は必ず、2は（A）（B）（C）の中から1つを選択し、演奏すること。
※全て暗譜で演奏すること。（繰り返しはしない。）

<動画の提出方法>

- Dropboxのファイルリクエスト機能により提出すること。
動画ファイルをアップロードするためのリンクを、令和4年2月17日（木）以降に出願時に登録しているメールアドレスに送付します。
メールで送付したリンクを開くとアップロード画面に移るので、提出したい動画ファイルを選択してアップロードしてください。
なお、動画ファイルのアップロードにあたり、Dropboxのアカウントを作成したり、アプリをインストールしたりする必要はありません。
メールが2月末までに届かない場合は、電話等により連携推進課入試担当まで問い合わせること。
- 動画はピアノ専攻志願者を除く受験者全員が提出すること。
- 動画はmp4形式で作成し、タイトルは、「副科ピアノ.受験番号.受験者氏名」とすること。なお、受験番号は半角数字とすること。
（例）副科ピアノ.21001.芸大和音
- 動画の提出期限は、令和4年3月4日（金）23時59分59秒とする。
（特別な事情がなく、上記期限までに動画のアップロードがなかった場合は、受験を認めません。）

<動画について>

- ・動画の収録においては、課題曲演奏前に受験番号を言うこと。なお、受験番号は動画で聞きとれるように、大きな声ではっきり言うこと。
- ・カメラアングルは固定し、演奏者の顔と手元が常に明確に映ること（全て暗譜で演奏すること）。
- ・動画は本学受験のために収録したものとし、編集や加工は一切禁止する。また、提出後の差し替え・変更は認めない。
- ・ビデオカメラに音声ボリュームを自動的に調節する機能がついている場合は、演奏の抑揚がなくなるため、使用しないこと。また、音量が極端に小さい、あるいは大きい、また雑音が入ったりしないように収録すること。
- ・映像と音声は同時に収録すること。映像と音声不一致の場合や、映像や音声を加工したと判断した場合は、失格となる可能性があります。
- ・課題曲1・2はカメラを止めずに続けて演奏し、ひとつの動画に収録すること。

<採点について>

- ・採点は第一次試験合格者のみに対して行います。

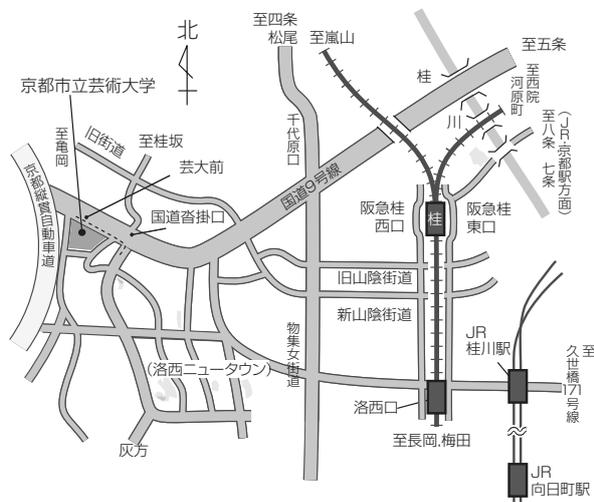
<その他注意事項>

- ・インターネット出願登録時に登録したメールアドレスで「@kcua. ac. jp」のドメインからのメールを受信できるように設定すること。
- ・可能であれば、キャリアメール（NTTドコモ，ソフトバンク，au等）以外のメールアドレスを使用することが望ましい。
- ・動画の作成方法及びDropboxの利用方法に関する問い合わせには一切応じません。

試験会場

京都市立芸術大学（京都市西京区大枝沓掛町13-6）

◆試験会場への略図



◆試験会場周辺略図



◆試験会場への交通機関

令和3年10月1日現在

主要な駅	のりば	バスの種類	乗車時間	最寄りのバス停	バス停から大学までの所要時間
京都駅	C2のりば	京阪京都交通バス (2・14・28A系統)	約45分	芸大前	徒歩すぐ
	C5のりば	市バス(73系統)	約45分	国道沓掛口	徒歩約10分
阪急桂駅	桂駅東口 ②のりば	京阪京都交通バス (1・2・13・14・25・28A系統)	約20分	芸大前	徒歩すぐ
	桂駅西口	市バス(西5系統)	約20分	国道沓掛口	徒歩約10分
JR桂川駅 (阪急洛西口駅経由)		京阪京都交通バス(11A系統)	約15分	芸大前	徒歩すぐ
JR向日町駅(JR桂川駅・ 阪急洛西口駅経由)		ヤサカバス(1号系統)	約25分	国道沓掛口	徒歩約10分

【注意】

- 交通機関の利用については、路線及びダイヤの変更に留意するとともに、周辺の交通事情等を事前に把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。
- バスは京阪京都交通の利用が比較的便利です。

令和3年(2021年)11月
京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当
〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
Tel 075-334-2238 Fax 075-334-2281
<https://www.kcua.ac.jp>

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts